

昨年、笠松店において柴苓湯が 8 名の方に使用されました。8 名とも中耳炎(滲出性中耳炎)ですが、今回、滲出性中耳炎と柴苓湯について調べました。

症例 1 71 才女性

H25.12.24	セフジトレンシムピボキシル 100mg 3T カルボシステイン 250mg 3T 毎食後 5 日分	耳が聞こえ難くなって・・・皆には年 だと言われたけれど。中耳炎だった。
12.28	内服 Do+ルリクール VG 軟膏 5g	良くなってきたけれどまだボーンとする。
H26.1.7	クラシエ柴苓湯 8.1g 毎食食前 14 日分	耳がジュクジュクする。 薬は 14 日分だけれど 7 日後に来てと 言われた。→終了

症例 2 68 才男性

H26.2.19	クラビット 500mg 1T 夕食後 4 日分 ムコダイン 250mg 3T 毎食後 4 日分 ロキソニン 60mg 3T 毎食後 3 日分	鼻水出て、耳の痛みもある。
2.22	ロキソニン削除 他 Do	良くなってきた。
2.25	クラリシッド 200mg 2T ムコダイン 250mg 2T 朝夕食後 7 日分	良くなってきている。
3.8	クラシエ柴苓湯 8.1g 毎食食前 14 日分	耳がボーンとして聞こえ難い。→終了

症例 3 68 才男性

H26.7.22	クラリシッド 200mg 1T 夕食後 5 日分	耳の調子悪い。中耳炎の一步手前
7.28	クラリシッド 200mg 1T 夕食後 4 日分 タリビット点耳液 0.3% 5ml 1 日 2 回点耳	良くなってきた
8.1	クラリシッド 200mg 1T 夕食後 4 日分	飲み薬だけで良くなった。
8.5	クラシエ柴苓湯 5.4g 朝夕食前 7 日分	耳に水が溜る。中々すっきり治らない。
8.11	Do	あまり変わらないね。→終了

症例 4 76 才女性 併用薬多数 M 大病院にて咽頭がん治療後

H26.10.24	クラシエ柴苓湯 5.4g 朝夕食前 5 日分	中耳炎
10.25	タリビット点耳液 0.3% 5ml 1 日 2 回点耳	→終了

※症例 5 63 才女性、症例 6 64 才男性、症例 7 66 才女性、 処方薬省略

## 症例 8 58 才女性

H25.7.3	クラシエ柴苓湯 5.4g 朝夕食前 28 日分 ロラタジン 10mg 1T 28 日分 ナゾネックス点鼻液 56 噴霧 1 瓶 セフカペンピボキシル 100mg 3T カロナール 300mg 3T 毎食後 4 日分	風邪。鼻炎も。耳の調子も悪い。
8.28	クラシエ柴苓湯 5.4g 朝夕食前 28 日分 ロラタジン 10mg 1T 28 日分 ナゾネックス点鼻液 56 噴霧 2 瓶	耳の調子悪いの続く。
10.25	Do	飲んでいると調子良い。
H26.5.26	Do ナゾネックス点鼻液 56 噴霧 2 瓶のみに	あまり長く飲みたくない。→終了

50 代～70 代 8 名

## 滲出性中耳炎とは・・・

中耳炎は、大きく急性中耳炎・反復性中耳炎・滲出性中耳炎の 3 つに分けられます。特徴・主な症状は、急性中耳炎---耳痛・耳漏・発熱・難聴・めまいです。多くは突然に起こる耳の痛みで発見されます。

反復性中耳炎---急性中耳炎を何度も繰り返します。急性中耳炎を起こすのは 3～4 才の子供に多いのですが、反復性中耳炎では 2～3 才の子に多く見られます。初めて中耳炎にかかった年齢が低いほど、中耳炎を繰り返しやすいと言われてています。

**滲出性中耳炎**---中耳(鼓室)に浸出液が溜まってしまう病気です。急性中耳炎の回復途中で、炎症により中耳(鼓室)に溜った浸出液は、耳管から鼻や喉に流れていきます。しかし、耳管の通気能が低下すると(炎症などで鼓室粘膜の腫れによって耳管の開口部が狭くなり耳管の通気性が低下すると)、浸出液が鼓室に溜ったままになり、滲出性中耳炎に移行することがあります。大人の場合は浸出液が溜まっていることが自覚でき、自分で病気を発見できますが、耳が詰まったような感じ、耳鳴りなどがありますが痛みがない為、小児は自覚症状に気づかない場合があります。テレビの音を大きくする、音源に耳を近づける、何度も聞き返すなど耳の聞こえが悪いことで親が気づいたり、就学時検診で発見されたりします。

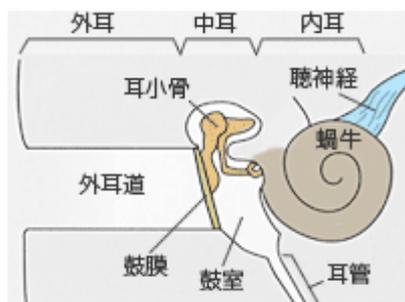


図 1



図 2



図 6

耳管は鼓室と鼻咽腔をつなぐ管で、とても重要な働きがあります。(図 2, 6)

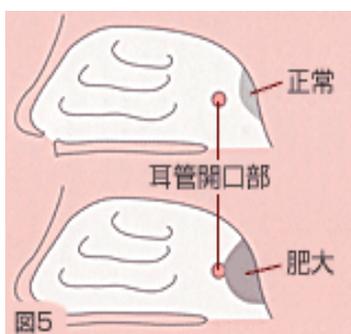
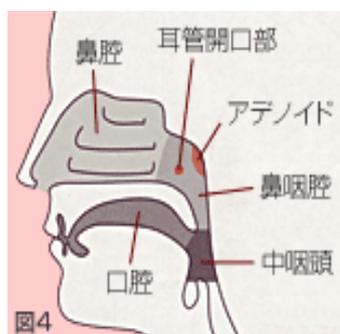
乳幼児期には耳管機能はまだ未熟で、十分な働きができません。急性中耳炎や鼻の炎症などをきっかけに、すぐに鼓室の通気能（換気）が悪くなるのです。耳管機能は、その後、成長とともに徐々に発達し、10歳位でほぼ成人と同等の機能が備わるといわれています。また、耳管の換気能力は、加齢により50、60歳代以降には徐々に低下します。

滲出性中耳炎はその2つの年齢層で多くみられます（小児と高齢者に発症のピーク。4-8歳くらいが好発年齢で、10歳を過ぎる頃にはほとんど初発することはなくなる）。鼓室や鼻咽腔に原因となるような病気がなくても、耳管そのものの機能不全が滲出性中耳炎の発症に大きく関わっています。

## 原因

鼓室側の原因	鼻咽腔側の原因	耳管そのものの原因
急性中耳炎〔細菌感染〕	アデノイド	幼少のための未熟
鼓室粘膜の過敏性など	鼻アレルギー	加齢による機能低下
	副鼻腔炎など	口蓋裂など

※アデノイドは咽頭扁桃という鼻咽腔にある扁桃組織が腫大したもの。アデノイドは成長期の5～6歳頃に最も大きくなり、その後は徐々に縮小するが、その程度には大きな個人差がある。アデノイドが大きくなると耳管が圧迫され、耳管の通りが悪くなる。アデノイドが大きいと鼻閉の原因ともなるため、蓄膿など副鼻腔炎（後述）を治りにくくし、そのことも耳管機能の悪化に間接的に影響する。



## 治療

治療は原因に対する治療と滲出性中耳炎そのものに対する治療があり、そのときの状態によって両者を組み合わせて行うのが一般的です。

### 【原因に対する治療】

急性中耳炎の治療    鼻の病気に対する治療    アデノイドの手術

### 【炎症に対する治療】

耳管通気    鼓膜マッサージ    薬剤治療〔急性中耳炎の治療でペニシリン系、セフェム系、マクロライド系等抗生剤、ムコダイン、漢方薬等〕    鼓膜切開    鼓膜チューブ留置術

## クラシエ柴苓湯

タイソウ 3.0g、サイコ 7.0g、オウゴン 3.0g、ブクリョウ 4.5g、ケイヒ 3.0g、チョレイ 4.5g、カンゾウ 2.0g、ショウキョウ 1.0g、ニンジン 3.0g、ハンゲ 5.0g、クシャ 6.0g、ビャクジュツ 4.5g

〔効能・効果〕

吐き気、食欲不振、のどの渇き、尿量が少ないなどの次の諸症：

水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ

→→→レセプトは中耳炎で提出。返例なし。

・柴苓湯は抗アレルギー作用と消炎作用のある柴胡を含む小柴胡湯〔柴胡、半夏、黄芩、大棗、人参、甘草、生姜〕と利尿を促して浮腫みや腫れを取り去る作用のある五苓散〔沢瀉、白朮〔蒼朮〕、猪苓、桂皮〕の合剤。

・柴苓湯には中耳粘膜の線毛活性の賦活化を介して〔中耳炎の起炎菌である肺炎球菌・インフルエンザ菌由来の〕エンドトキシンのクリアランスを促進させることにより、中耳粘膜における炎症や血管透過性亢進を減弱し中耳液の減退を促進する作用がある。  
(大橋淑宏ほか. 耳鼻臨床 85 : 3)

・臨床効果：滲出性中耳炎を改善の報告多数あり 文献：耳鼻臨床、漢方医学、日本東洋医学会 EBM 委員会エビデンスレポート

## 経過

滲出性中耳炎は長期間、治らず続くことがあります。2、3ヶ月～10ヶ月程度の周期で、滲出性中耳炎の状態はかなり変動するため、治癒を確認するためには数ヶ月以上の観察期間を要する必要があります。

(以上 老木医院：専門医が監修する滲出性中耳炎のサイト参照)

## まとめ

今回、滲出性中耳炎に柴苓湯が処方された症例はほぼ高齢者であり、小児に処方された例はありませんでしたが、小児が罹患した場合、滲出性中耳炎を繰り返し、慢性中耳炎に移行する割合が 1%程度とのデータもあります。  
(欧米の疫学調査を基にしたもの) 乳幼児で難聴が続く場合には言語発達に悪影響があるばかりでなく、精神発達にも影響を及ぼす可能性があります。滲出性中耳炎のほとんどは軽度の難聴にとどまるのですが、成人においても難聴という状態はなるべく短期間にとどめるに越したことはありません。そのためにも滲出性中耳炎の病態を理解し、服薬の重要性をこれまで以上に説いていきたいです。